

市民のくらしを守るために一般質問

日本共産党町田市議団

石阪市政の本質表れた9月議会

日本共産党は **市民の願いに背を向ける** 補正予算に反対

8月27日から9月30日まで行われた9月定例議会は、2024年度の決算認定、25年度の補正予算、学校統廃合や国際工芸美術館整備にかかわる請願など、熱い議論が行われました。中でも、補正予算の国際工芸美術館整備費は、当初予算に5億円引き上げて総事業費を48億5千万円に増額し、そのうち19億5千万円を今年度中に入札に活用する予算を定めるもので、日本共産党は反対しました。

また、2024年度決算認定についても、国保税の連続値上げ、公共施設再編や学校統廃合の推進などであり、日本共産党は反対しました。

また特養ホームに入所する高齢者の調髪券を廃止する計画の見直しを求める理容組合からの請願が維新以外の賛成多数で採択されました。のべ4500人の高齢者が利用する、年間わずか410万円の事業を削る一方で、にぎわいづくりの箱物事業は市民の声を無視して進める、石阪市政が推進してきた市政の本質が明らかになった議会でした。

来年2月8日告示、15日投票で市長・市議会議員選挙がおこなわれます。

日本共産党は、大型開発推進、公共施設再編で市民負担増・市民犠牲をすすめる市政から市民の暮らしを守り、豊かな教育をすすめる市政めざし全力をあげます。

市議会議員選挙にのぞむ予定候補者を発表し、選挙の争点、党市議団の実績と値打ち、公約を語るとともに、選挙勝利にむけてのとりくみをお話します。ぜひ、お誘いあわせのうえご参加ください。

党と後援会決起集会

日時 **10月13日(祝・月) 午前10時**

会場 **健康福社会館 4階・講習室**

日本共産党町田市議団ニュース
2025年10月臨時号

発行 日本共産党町田市議団 〒194-0022 町田市森野 2-2-22
電話 042-724-4030 / Fax 042-724-4042 / Mail jcp.machida.shigidan@gmail.com

「戦後80年、被爆80年」について市長の認識を問う



市議会議員

とのむら健一

殿村健一市議は、「戦後80年、被爆80年」の市長の認識について質問。

政策経営部長は、戦争の悲惨さを語り継ぎ、失われた命の尊さや平和の大切を伝えることだと答弁しました。

本町田ひなた小の通学児童の暑さ対策実施を求める質問に、8月、街路樹を180本伐採した。冷風機や日差しを避ける工作物設置の考えはないと、道路部長と教育部長は冷たい答弁でした。

芹ヶ谷公園パークミュージアム計画について、市民の賛同を得られず、入札も契約もうまくいかず、整備費用は増大するばかりなのに事業推進に執着する理由は何かとの質問に、文スポ部長は、25年度予算の議決を得ているので事業を進めると、問題の認識に欠ける答弁をしました。また、総務部長は、工芸美術館工事契約解除の現段階の情報公開を拒否しました。

町田駅周辺開発推進計画のD(森野住宅周辺)地区について、再開発事業によって再開発ビルの保留床のマンション価格が高騰した場合、公社の建替え住宅の家賃に与える影響はないかとの質問に、中心市街地部長は、公社住宅家賃に影響すると答えました。

ウラ面にも一般質問の内容を掲載しています

困った時は日本共産党へ

無料法律相談のご案内

10月22日(水) | 午後2時～
11月12日(水) | 5時まで

町田市役所3階・共産党会派室で

※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。生活相談はいつでもお受けします。

日本共産党町田地区委員会 ☎ (723) 6312

または日本共産党町田市議団 ☎ (724) 4030